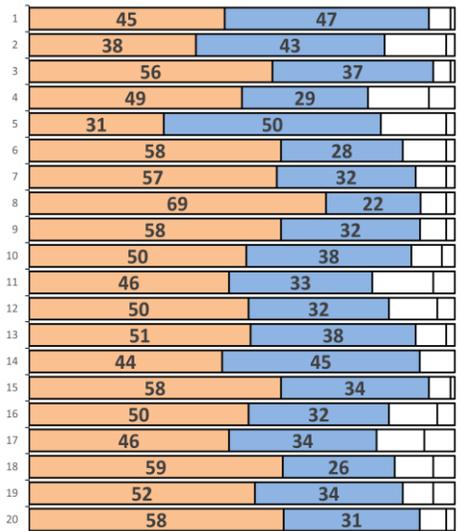


平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。

学校教育目標 「自分の良さを生かし、夢に向かって、挑戦し続ける子どもの育成」 ～ひとりひとりが力を合わせ 明るくたくましく伸びていく 新林の子ども～
重点目標 ◎自分の良いところを知り、自信をもって行動する。 ◎あきらめずに最後までやりきる。

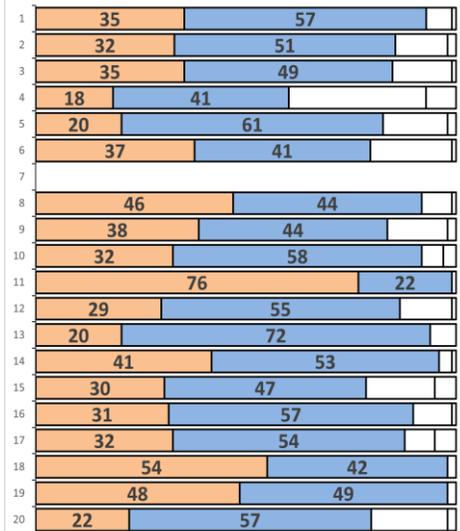
児童

質問項目	
①	学校の勉強はわかりますか
②	自分の意見や考えを話すことができますか
③	人の意見や考えをしっかりと聞き取ることができますか
④	進んで本を読むことができますか
⑤	毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができますか
⑥	毎日、家庭学習をすることができますか
⑦	授業や学校生活の中でがんばったことを先生はほめてくれますか
⑧	学校に楽しくほかのことができますか
⑨	学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
⑩	地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができていますか
⑪	早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか
⑫	自分にはよいところがあると思いますか
⑬	むずかしいことでもしつぱいおそれないで挑戦していますか
⑭	学校のきまりややくそくを守ることができますか
⑮	自分から進んでそうじや係活動(委員会活動)ができていますか
⑯	学校からのおたよめをお家の人に見せていますか
⑰	わからないことや困っていることを先生に相談することができますか
⑱	お家の人に学校でのできごとを話していますか
⑲	おうちの人やちいさな人からほめられることがありますか
⑳	ちいさな人との交流やゲストティーチャーとの交流、PTA遊びを楽しみにしていますか



そう思う・ 大体そう思う・ あまり・ 思わない・ 空白わからない

保護者・学校運営協議会



そう思う・ 大体そう思う・ あまり・ 思わない・ 空白わからない

	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない	
	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人
①	45	35	47	57	5	6	1	1
②	38	32	43	51	14	12	2	2
③	56	35	37	49	4	14	1	1
④	49	18	29	41	14	32	6	7
⑤	31	20	50	61	15	15	2	2
⑥	58	37	28	41	10	19	2	1
⑦	57		32		7		2	
⑧	69	46	22	44	6	7	2	1
⑨	58	38	32	44	6	14	2	2
⑩	50	32	38	58	7	5	3	3
⑪	46	76	33	22	14	1	5	0
⑫	50	29	32	55	11	12	4	1
⑬	51	20	38	72	7	6	2	0
⑭	44	41	45	53	8	3	0	1
⑮	58	30	34	47	5	18	1	5
⑯	50	31	32	57	11	9	4	1
⑰	46	32	34	54	11	7	7	5
⑱	59	54	26	42	9	2	5	0
⑲	52	48	34	49	7	2	5	0
⑳	58	22	31	57	6	18	2	2

※四捨五入のため、合計が100%にならない項目があります。

「確かな学力」（アンケート番号①～⑦）

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
アンケート①の「学校の勉強はわかりますか」では92%の児童が「わかる・だいたいわかる」と回答しています。今年度は児童にとってわかりやすい授業を構築するため、授業研究を行い改善に努めてきました。特に算数科では学年で練った授業を研修として校内で公開し、児童の様子からその授業の良いところ、改善点を話し合いました。また、講師の先生を招き、その授業を通して授業改善に向けた方向性や方法を享受していただくことができました。それを活かし、どの教科でも児童が「伝えたい」「聞きたい」「知りたい」という主体的な学びを目指しています。しかし、「わかりやすい」と「定着」は違うため、継続して基礎的な学習を行い、基礎学力の向上を着実にしていきたいと考えています。④の「進んで本を読むことができますか」では前期に比べ肯定的な意見が少し減少しています。国語科で並行読書を行ったり、学習単元の関連図書を教室に置き、本に触れる機会を増やしていきたいと考えています。また、「ゆきんこ読書週間」で地域・保護者・教職員による読み聞かせをするなど、読書活動の推進もしていきたいと考えています。

② 話す・聞く力の向上
アンケート②の話すことは「できる・だいたいできる」が8割をこえる結果となりました。しかし、2割の児童は自分の考えを話すことに苦手意識をもっているようです。苦手である原因に「なんて言っていかわからない」「思いを伝える言葉が見つからない」などが挙げられます。前述した④にも関わりますが、本を読むことで「語彙」を増やし豊かな表現力を身に付けていきたいと考えています。

③ 家庭学習の習慣化
アンケート⑥の「家庭学習をすることができますか」の項目では、前期同様、子どもと保護者との結果に少し差がある回答となりました。児童によっては宿題で手いっぱいになってしまうこともあります。予習、復習を含め自主的な学習の有効性を指導していきたいと考えています。

「豊かな心・健やかな体」（アンケート番号⑧～⑮）

① 自己肯定感の育成
アンケート⑩の「自分にはよいところがあると思うか」の項目は、「そう思う・大体そう思う」と回答した児童・保護者が80%をこえる結果となりました。良いところをみんなで褒め、伸ばしていくことで自己肯定感が高まります。自分が大切にされていると感じることができれば、友だちを大切にしようとする意識が高まります。自分も友だちも大切にできる児童を育てていきたいと考えています。

② 共感的な人間関係の育成
アンケート⑬の「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦しているか」の項目について、児童・保護者共に肯定的な意見が高い結果となりました。この1年、学校では学級・学年・学校行事を通して多くのことにチャレンジしてきました。仲間と共に励まし合いながら多くの行事をこなす姿には、すばらしい成長が見られます。時には失敗することもあります。そこにも仲間が励め励まし、次に向かう姿がありました。この関係を大切にしながら、教職員も挑戦する姿を見せることで、児童の成長をさらに促したいと考えています。

③ 楽しい学校
アンケート⑧の「学校に楽しく通うことができますか」の項目は、高水準を保っています。より安心・安全な場所になれるように、一人一人を徹底的に大切に京都府の理念のもと、より一層努力していきたいと考えています。

④ 基本的な生活習慣の確立
アンケート⑪の「早寝・早起き・朝ごはん」の項目を見ると、児童・保護者共に「できる・大体でできている」と回答しています。その一方で、友だちを連絡を取り合う、動画やゲームがやめられず、夜遅くまで起きているという報告も受けています。規則正しい生活や食事は成長期の児童にとって非常に大切です。家庭でのICT機器を使用に関するルールを確認していたことと共に、今後も、規則正しい生活の推進を続けていきたいと考えています。

「学校・家庭・地域との連携」（アンケート番号⑯～⑳）

日頃から様々な取組に対し、地域やPTAの方々にご協力いただきありがとうございます。

① 家庭・地域と連携
アンケート⑯の「お家の人や地域の人からほめられることはあるか」では、多くの児童・保護者が「そう思う・大体そう思う」と回答しています。アンケート⑦の「授業や学校生活の中で頑張ったことを先生はほめてくれますか」も89%の児童が肯定的な回答をしています。できたことを褒めることで、苦手ことやできていないことに向かう活力が出ていくと考えています。また、できた時の達成感を存分に味わうことで、次に挑戦する意識を育てていきたいと考えています。

② あいさつ
アンケート⑰のあいさつについては、多くの児童・保護者の方が肯定的な回答をしています。登校時や下校時に見守り隊などの地域の方、保護者の方の優しい声掛けがたくさんあることで児童が安心してあいさつできると思います。また、様々な地域行事を通して児童と地域が親しみやすい関係を築いてくださっています。引き続きよろしく願いいたします。

